

ひとときを輝くパートナー

「おらほのりんご」でま行く編



H I Dが街道を明るく切り裂く



次世代型のステアリング周り



高級感溢れるレザーシート



「千年の都」京都に向けて出発！



LEDファイバーテールが鋭く光る



晩生種の入庫が繁忙期を迎えた

11月上旬、JA相馬村フルーツステーションでは晩生種の「ふじ」を中心とした入庫作業がピークを迎えた。毎晩、夜遅くまでリンゴが溢れかえっていた。今後は、贈答シーズンに突入することから、サンふじの選果荷造りが本格化していく予定だ。

今回、フルーツステーションを出発したのは、(有)青森流通センターのトラック。積み込まれたのは、「早生ふじ」など168ケース。行先は、京果京都青果合同株式会社だ。今回出発した青森流通センターのトラック「新型クオン」は、ガンメタに輝くキャブと高級感溢れる次世代型の「人を想う」デザインから生まれた快適なインテリアが魅力的だった。ブラックとシルバーを基調とした洗練されたコックピットはドライバーに満足感を提供している。また、進化した12段電子制御式オートマチックトランスミッションは、快適な運転性能を誇ることで多くの人から愛されている。最新鋭のトラックが今日も安心安全に飛馬リンゴを運んでくれる。



魅力
Part 2



農業振興課
広報担当
齊藤 大貴

JA相馬村広報

りんごのもり
林檎の森

2018.11 Vol.436

- 発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497
- 編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp
- 発行日
2018年11月15日

JA 相馬村概況

〈平成 30 年 10 月末日現在〉

組合員数	878 人
(うち准組合員数)	363 人
出資金	630,620 千円
貯金額	9,295,189 千円
共済保有高	3,423,859 万円